

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
昭和61年7月20日発行(毎月1回20日発行)
物 性 研 究 第46卷 第4号

ISSN 0525-2997

vol. 46 no. 4

物性研究

1986/7

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査を行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不相当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにしてください。

投稿規定

1. 原稿は400字詰原稿用紙を使用し、雑誌のページ数を節約するために極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
3. 数式、記号の書き方は **Progress, Journal** の投稿規定に準じ、立体“□”、イタリック“_”、ゴシック“~”、ギリシャ文字“ギ”、花文字、大文字、小文字等を赤で指定して下さい。又特に区別しにくいoとaと0(ゼロ)、uとnとr、cとe、l(エル)と1(イチ)、xと×(カケル)、uとv、†(ダガー)と+(プラス)、ψとφとΨとΦ等も赤で指定して下さい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図はそのまま印刷できるもの（原則としてトレースされたもの）とそのコピーを本文と別に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。図の縮尺、拡大は致しません。図の説明を含め1頁（13×19cm）以内に入らないもの、そのまま印刷できない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。図中の文字は活字にいたしません。図の説明は別紙に書き、原稿に添えて下さい。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけ避けるようにして下さい。
8. 別刷御希望の方は投稿の際に50部以上10部単位でお申込み下さい。別刷代は別刷代金表（当会にご請求下さい）に従い、別刷を受取ってから1ヶ月以内に納めて下さい。（郵便切手による受付はいたしません。）
9. 原稿締切日は毎月5日で、原則として次月発行誌に掲載されます。

編集後記

7月より小貫編集長が海外出張(6ヶ月の予定)された。今後、古い常連を含む以前のスタッフで当面編集にあたることになるが、以前ののんびりムードにもどるわけにはゆかないようである。いつもお世話になっている本誌の印刷所である昭和堂印刷より、長期間にわたる印刷費のすえ置きをなんとかして欲しいとの要請が出されている。現在、収支トントンでなんとかやりくりしている状態であるから、本誌の値上げなしには印刷費の変更は無理と思われる。本誌の値上げは読者には内容の充実で応え、さらにできるだけ不要なページは減らし、経費の節約が必要となる。とすると編集会議は読者の眼を気にしながら、あまり内容のないように見える論文等に批判を集中することになる。同人誌のようなのんびりした雰囲気編集ができるか。現在の学問をとりまく環境は厳しいのである。等々の議論となる。

先日飯田修一氏が、還暦記念に作成された「フェライト研究から新統一体系物理学樹立に至るまで」と題する小冊子を編集部に送付された。その中で、本誌がいわゆる飯田理論を掲載したことで高く評価されている。本誌が同理論を掲載したのは、レフェリーなしの同人誌的なものであるという判断に基づくものと思われる。ところが最近では飯田理論と同列に思われるから、物性研究に書くのは困るという人が増えてきた。となれば、飯田理論の内容自体を編集部でも検討せざるを得ないわけである。飯田理論の重要な点と思われる電子のVRモデルは素粒子の構造を問題にしているのであるから、素粒子論関係の雑誌に投稿していただきたい、物性研究には掲載しないと編集部ではお伝えしている。しかし飯田先生はあい変わらず、物性研究に投稿してこられる。最近の投稿されたものによると新たにいわゆるトーマスの補正をつけ加え、 g 因子を議論されているようである。朝永先生の有名な「スピンはめぐる」にでてくるこの補正によりスピン軌道結合が古典的に正しく導出されると一般に理解されている。新しい飯田理論では補正が重複するよう思われるが答えは正しいようである。我々の見るところ、以前の説明が間違っていたのか、トーマスの補正が重要でないのかわかりにくい。そこで編集部では以前の理論に対する修正として投稿されている論文をもっと簡潔にして、要点のみを記したErrataのような形式でないと掲載しないと強い姿勢をとっている。飯田先生は物性研究にErrataはないだろう、若い人のためにも詳しく説明する必要があると主張されているようである。

いずれにせよ、本誌のような雑誌では「玉石混交」は避けられないが、ほとんど石ばかりでは廃刊せざるを得ない。ピカピカの玉でなくてもいつかは輝く石の投稿を期待したいと思う。物性研究者の我々から見れば、飯田理論が輝くことがあるとすれば素粒子の分野かもしれないと思われるが、素粒子研究者を避けていては輝くことはないのではないかと思う。研究者にとって最も大切な、石と玉の区別ができる判断力の教材として飯田理論は役立つかも知れない。その意味で飯田先生のパンフに登場するアンダーソンも含む内外の研究者の反応は興味がある。

(K.Y.)

お わ び

本誌 46-3 (6月号) 掲載の科研費研究会報告「合金の相変態とその前駆現象」の目次の「5. 研究発表」以下は当該班の方に配布された「科研費報告書」には収録されていますが本誌には掲載しておりません。この点に関する説明が不足しておりましたのでお詫びします。

物 性 研 究 第 46 卷 第 4 号 (昭和 61 年 7 月号) 1986 年 7 月 20 日 発行

発行人	山 田 耕 作	〒 606	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所	〒 606	京都市百万辺交叉点上ル東側 TEL (075) 721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒 606	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
年額	13,200円		

お わ び

本誌 46-3 (6月号) 掲載の科研費研究会報告「合金の相変態とその前駆現象」の目次の「5. 研究発表」以下は当該班の方に配布された「科研費報告書」には収録されていますが本誌には掲載しておりません。この点に関する説明が不足しておりましたのでお詫びします。

物 性 研 究 第 46 卷 第 4 号 (昭和 61 年 7 月号) 1986 年 7 月 20 日 発行

発行人	山 田 耕 作	〒 606	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所	〒 606	京都市百万辺交叉点上ル東側 TEL (075) 721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒 606	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
年額	13,200円		

会員規定

個人会員

1. 会費：当会の会費は前納制をとっています。したがって、3月末までになるべく1年間分会費を御支払い下さい。
なお新規入会お申込みの場合は下記の会費以外に入会金として、100円お支払い下さい。

1年間の会費

1st volume (4月号～9月号)	3,000円
2nd volume (10月号～3月号)	3,000円
	計 6,000円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です)

2. 支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。
(振替貯金口座 京都1-5312) (現金書留は御遠慮下さい)
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。
雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず会員本人の名前を明記して下さい。
3. 送本中止の場合：次の volume より送本中止を希望される場合、かならず「退会届」を送付して下さい。
4. 会費の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく2 Vols. 以上の会費を滞納された場合には、送本を停止することになっていきますので御留意下さい。
5. 一括送本を受ける場合：個人宛送本中に大学等で一括配布を受ける様になった場合は、必ず「個人宛送本中止、一括配布希望」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
6. 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等により送本先が変わった場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

学校、研究所等機関会員

1. 会費：学校・研究所等での入会及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、1冊 1,100円、1 Vol. 6,600円、年間13,200円です。この場合、入会金は不用です。学校、研究所の会費の支払いは後払いでも結構です。入会申込みをされる時、支払いに請求、見積、納品書が各何通必要かをお知らせ下さい。
なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校、貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合：発行途上にある volume の途中送本中止は認められません。退会される場合には、1ヶ月前ぐらいに中止時期を明記して「退会届」を送付して下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物性研究刊行会

〒606 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
☎ (075)751-2111 内線7051 (075)722-3540(直通)

物性研究 46—4 (7月号) 目次

- カオスダイナミクスによる帰納推論
.....大井 澈..... 353
- 研究会報告
「磁性体における新しいタイプの相転移現象」..... 369
- 修士論文題目・アブストラクト(1985年度) その1..... 568
- 編集後記..... 632

☆ ☆ ☆ ☆

○科研費研究会報告

相転移における秩序形成過程の動力学

物性研究 46—4 (7月号) 目次

- カオスダイナミクスによる帰納推論
.....大井 澈..... 353
- 研究会報告
「磁性体における新しいタイプの相転移現象」..... 369
- 修士論文題目・アブストラクト(1985年度) その1..... 568
- 編集後記..... 632

☆ ☆ ☆ ☆

○科研費研究会報告

相転移における秩序形成過程の動力学